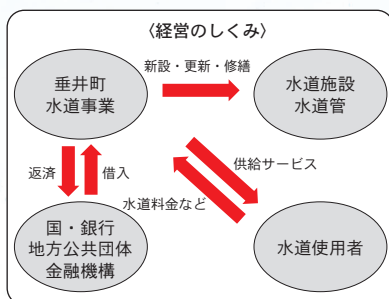


水道事業会計の決算概要をお知らせします

経営状況について

町水道事業は、官公庁の一般会計（現金主義会計）とは異なり、地方公営企業会計（発生主義会計）を適用しています。この会計では、収入および支出を収益的収支（営業活動に関する取引）と資本的収支（営業活動以外における投資資本の増減に関する取引）に区分して経理しています。

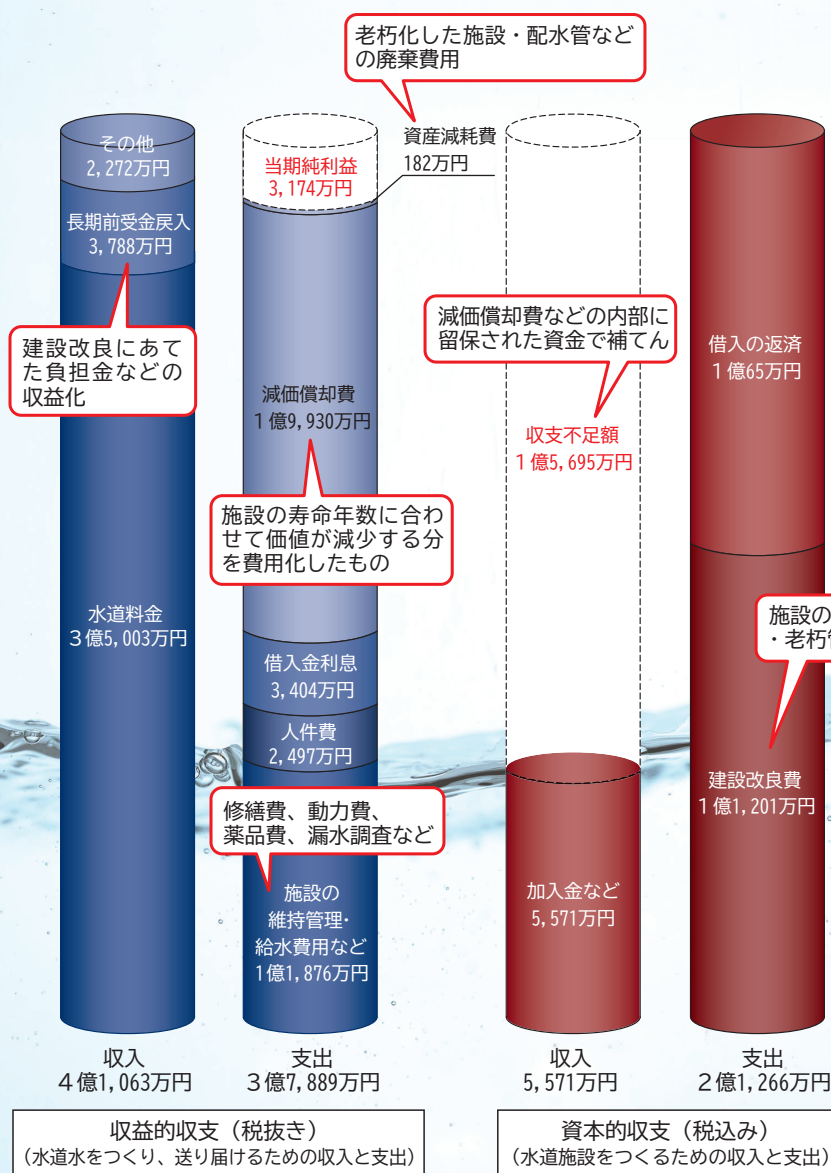


経営の状況を見てみると、収益的収支では、水道料金が前年度と比較して3508万5616円増加し、収入合計が4億1063万円となりました。

支出では、安心・安全な水を安定供給していくことを目的に、水質検査や漏水調査などを実施し、支出合計が3億7889万円となりました。

この結果、当期純利益は3174万円となりました。

資本的収支では、安定した水の供給を目的に、主に老朽化した水道管の更新を実施し、併せて主要な水道管の耐震化を図りました。このうち、加入金等で補えなかった収支不足額は、収益的収支の減価償却費など内部に留保された資金で補っています。



水道事業はみなさまにお支払いいただく水道料金で支えられています



Dr. すいどー